



うたづ

議会だより

2025

第98号

11.1

香川県宇多津町

宇多津小学校校歌

一、浜風清き 川すそに
心を磨けと 招くこと
雄々しくたつる 学舎に
われらが希望 輝けり

二、青野山ねに 日をうけて
歴史は古し わが郷土
扶桑の幸は おちこちに
塩の都と うたわるる

三、宇多津の子ども 健やかに
愛と信とに 育まれ
強く正しく 朗らかに
われらが理想 貫かん

四、塩浜遠く その果に
瀬戸のしぶきは ささやきめ
受だ力だ 団結だ
若き血潮の 意気燃ゆる



議会だより100号に向けて、昔の町内の風景を掲載します。

昭和48年まで使われていた旧宇多津小学校
(S48卒業アルバムより)

定例会「令和6年度一般会計歳入歳出決算認定」ほか

2

委員会審議・町政を問う

4

議員の賛否

5

一般質問「産婦人科小児科オンライン相談導入」ほか

6

第11回全国コンパクトタウン議会サミット in 北島

15

宇多津町議会政治倫理条例の一部改正

16

第3回定例会

令和7年第3回定例会は9月5日から17日までの13日間開会され、認定4件、議案11件、同意1件、発議1件を慎重に審議した。

主な内容

令和6年度宇多津町一般会計歳入歳出決算認定
賛成多数で認定

歳入決算額は8億2733万円、歳出決算額は73億7194万円。差引額は6億5539万円。

令和6年度宇多津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
全会一致で認定

歳入決算額は14億8284万円、歳出決算額は14億1479万円。差引額は6805万円。

令和6年度宇多津町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
全会一致で認定

歳入決算額は11億3779万円、歳出決算額は10億9745万円。差引額は4034万円。

令和6年度宇多津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
全会一致で認定

歳入決算額は2億4626万円、歳出決算額は2億4072万円。差引額は554万円。

令和6年度宇多津町公共下水道事業会計利益処分及び決算の認定
全会一致で可決

令和7年度宇多津町一般会計補正予算（第4号）
全会一致で可決

3億2608万円

- ・医療機関等への物価高騰対策臨時支援給付金
- ・空き家の除却費用
- ・町道の改良工事
- など。

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
全会一致で可決

まちづくり拠点施設条例の一部を改正する条例
全会一致で可決

宇多津町立学校施設使用条例等の一部を改正する条例の制定
全会一致で可決

宇多津町教育委員会教育長の任命
全会一致で同意

- ・教育長に中谷清氏を再任



宇多津町議会政治倫理条例の一部を改正する条例
全会一致で可決

- ・政治倫理基準の遵守事項の明確化及び倫理基準審査方法の透明性の確保を図るため改正した。主な内容として、町から補助金等を受けている団体等の役員の禁止、ハラスメントの禁止、ソーシャルネットワークキングサービスを含む情報発信に関すること、寄付や不正行為禁止の順守など10項目について明記した。

第3回臨時会

令和7年第3回臨時会は、7月14日に開会され、議案2件を慎重に審議した。

主な内容

令和7年度宇多津北小学校大規模改修工事

(建築・機械設備) 請負契約の締結

1億9690万円

全会一致で可決

・外壁・内装やベランダ等を改修する。

令和7年度学習者用コンピュータ等機器購入に伴う契約の締結

8662万円

全会一致で可決

・5年前に購入した児童・生徒の一人一台タブレット端末の更新費用。



第4回臨時会

令和7年第4回臨時会は、8月20日に開会され、議案1件を慎重に審議した。

主な内容

令和7年度宇多津町一般会計補正予算(第3号)

1100万円

全会一致で可決

・食料費高騰に伴う給食センター管理運営費の増額。



第5回臨時会

令和7年第5回臨時会は、10月1日に開会され、議案1件を慎重に審議した。

主な内容

令和7年度宇多津町一般会計補正予算(第5号)

300万円

全会一致で可決

・瀬戸内国際芸術祭町実行委員会への負担金追加分。警備員の増員、看板設置箇所の増設など。



総務建設・教育民生常任委員会

令和7年度宇多津町一般会計 補正予算(第4号)

- Q** 放課後児童育成クラブの改修によって、来年どのくらい受け入れを増やせるのか。
- A** 宇多津小学校の2教室を拡張し、10名づつ増やせると思う。
- Q** 町内の在留カードを持っている外国籍の方が、ホテルなどを住所地としている例はあるのか。
- A** 町内では例がない。会社で借り上げている寮やハイツに住所を置いている。
- Q** 社会福祉施設等物価高騰対策臨時支援給付事業だが、医療機関だけとなるのか。
- A** 今回の対象は、病院や診療所、歯科医院、調剤薬局、施術所等の合計56施設を予定。

令和6年度宇多津町一般会計 歳入歳出決算認定

- Q** 出産・子育て応援交付金の算出方法は。出生数や母子手帳の発行に基づくものか。
- A** 子どもの数や母子手帳の発行ではなく、その際に発行されるポイントの利用実数によるもので、額面を人数で割ることは出来ない。
- Q** 消防費の「ウェーバーレスキューエアバック」とはどのようなものか。用途は。
- A** 有事の際、車両等を持ち上げるエアジャッキである。
- Q** 電気自動車充電スタンドは一般の方への開放は。
- A** 充電の出力が小さいため、一般開放は予定していない。
- Q** 公園清掃(トイレ)委託料が前年度より上昇している理由は。
- A** 清掃労務単価が高騰したため。



町政を問う

(一般質問の件名)

沼田 友紀	・産婦人科小児科オンライン相談導入 ・災害・防災情報の提供は	水本富美子	・RSウイルスワクチン接種に助成を ・介護予防住宅改修費の受領委任払い
田村 充	・教育現場で性犯罪を抑止する取組み (他3件)	井上 弘治	・人口動態から考察した町のポイント ・防犯ボランティア増員に向けて
藤本 和代	・災害時避難所における食品確保 ・町立幼稚園・保育所の未来構想	西本 祐子	・前納報奨金制度は続けるのか ・瀬戸芸の準備は順調か(他1件)
宮本 敦夫	・児童登下校時の暑さ予防対策を問う ・すくすくスクエアの防音壁について	大松喜次郎	・小中学校の修学旅行費補助の増額を ・公園や道路の樹木の点検の仕方は
神出 佳宏	・国保税の子どもの均等割の免除を (他1件)		

【令和7年第3回定例会】

○は賛成、×は反対、欠は欠席、△は採決退席

審 議 案 件		沼田	田村	藤本	宮本あ	神出	水本	井上	西本	大松	宮本た
認 定	令和6年度宇多津町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長は可否同数の時のみ、裁決を行う
	令和6年度宇多津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度宇多津町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度宇多津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議 案	令和6年度宇多津町公共下水道事業会計利益処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度宇多津町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度宇多津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度宇多津町公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	まちづくり拠点施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	宇多津町立学校施設使用条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	宇多津町児童館条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ふれあいセンター条例及び保健センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	宇多津町教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同 意	宇多津町議会政治倫理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発 議											

【令和7年第3回臨時会】

審 議 案 件		沼田	田村	藤本	宮本あ	神出	水本	井上	西本	大松	宮本た
議 案	令和7年度宇多津北小学校大規模改修工事(建設・機械設備)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	令和7年度学習者用コンピュータ等機器購入に伴う契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

【令和7年第4回臨時会】

審 議 案 件		沼田	田村	藤本	宮本あ	神出	水本	井上	西本	大松	宮本た
議 案	令和7年度宇多津町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

【令和7年第5回臨時会】

審 議 案 件		沼田	田村	藤本	宮本あ	神出	水本	井上	西本	大松	宮本た
議 案	令和7年度宇多津町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



沼田 友紀 議員

産婦人科小児科オンライン相談導入

問 このサービスは子どももの急な発熱や体調不良、妊娠中や産後の体調や育児の悩み、婦人科の悩みに対して気軽に専門家に相談できる仕組み。子どもの体調は夕方から夜間にかけて急に变化することが少なくない。現在ある小児救急電話相談#8

000では電話に対して即時受診を勧めた、すぐに病院に行くようにと回答されたケースが31・6%。こうした状況が夜間や救急医療のひっ迫に繋がっている可能性がある。本町でもオンライン相談サービスを導入する考えはあるか。

西本健康増進課長 小児夜間の一次救急について、地域医療の安定性と子育て中の保護者が不安を感じずに適切な医療を受けられる体制を整えることは重要な課題であると認識している。広域圏での市町を越えた連携により、オンライン

ン医療体制の構築を具体的に検討している。



あるため、徐々に反映させていければと考える。

災害・防災情報の提供は

問 宇多津町として住民にわかりやすく一元的に防災情報を提供する仕組みづくりについてどのように考えているか。

福田危機管理課長 平常時の防災情報については全住民が利用しやすい仕組み等を今後検討していきたい。

問 町のホームページに防災関連の情報は掲載されている。しかし、ページ構成が分かりづらく、日ごろの事前準備や避難行動の確認に活用しづらいという声も寄せられている。チャットボットについても防災情報の提供が十分とはいえないか。

福田危機管理課長 町ホームページは今年リニューアルしたばかり。改善の余地があると考えている。今後平常時から住民にこれまでよりも利用しやすく改善していきたい。チャットボットに関しては日々危機管理課へ防災に関する様々な相談が



たむら みつる
田村 充 議員

教育現場で性犯罪を抑止する取組み

問 県下でも教職員不祥

事やわいせつ事案による処分が相次いでいる。実際には多くが黙認・未報告、氷山の一角という考え方もある。宇多津町においてはは無縁と信じたいが、全国で相次ぐことから子どもや保護者に不安が広がっている。

町のわいせつ行為等防止の管理・研修・人材養成といった予防的対応や、万一の際の対応や役割について伺う。

誤解のないように町内小中学校教職員の不祥事を見聞きしているわけではない。むしろ良い状態であり、子どもたちが憧れる職業の一つであるよう、不安払しょくやこの状態を保つことも教育委員会の差配だろうと考える。

中谷教育長

教育に対する信頼を揺るがす極めて深刻な事態。子どもを守り育てる立場にある教職員が児童生徒に対してわいせつ行為を行うことは決して許されるものではない。

年度当初に各校長が全教職員に「わいせつ行為セクハラに関する遵守事項」について説明するほか、教職員が自身の言動や職場の環境を点検するなど予防的な取り組みを推進している。

万一町内の学校において事案が発生した場合は、当該教職員に対し厳正な対処と、被害児童生徒に対し専門的ケアによる支援が大切である。

問

全国的に事件が起きていることから謝罪会見をしている報道しか印象になく、研修で終わってはいけない。採用や面接システムでは難しいのかもしれないが、先生の指導力、又人間性が大事だと思っ、親としては求めている。日本版DBSに関して町教委がどこまで運用できるのか。

佐野教育次長

日本版DBSは性犯罪歴のある者が教育に関わる職業に就くことを制限する制度。R8年度中に施行される。施行後は町が雇用する教育現場の職員は町教委が性犯罪歴を確認し、有る場合には子どもに接する業務につかせない措置を講じる。

問

塾講師等抜け穴はある。不祥事やイメージが悪いと採用の倍率が下がるのでは。教育現場の魅力は。

中谷教育長

子どもの成長に深く関わり人間形成をサポートでき、子どもたちや保護者から感謝の言葉を受けることでやりがいを感じ、専門性を生かして社会に貢献できるなど様々な魅力があり、一部の教職員による不祥事によって簡単に薄れるものではない。



ふじもと かすよ
藤本 和代 議員

災害時避難所における食品確保

問 南海トラフ巨大地震の被害想定が宇多津町も被害増になっている。以前より「町独自での備蓄」を伝えているが、保管場所や期限の問題で進まない状況に思う。今、避難所の備蓄食は1・3日分で明日が無い状態。新しい取り組みとして、町内

のスーパーと「災害緊急時物資予約売買契約」を提案する。停電時、スーパーが販売出来ない状況でも、行政が事前契約し買い取る事で、避難所の物資確保や保管場所問題・買い替え費用削減につながる提案だが見解を伺う。

福田危機管理課長 避難所に備蓄している事が、避難されている方には大きな安心と考える。現在、備蓄食料充実と衛生対策を県と協力し進めているが、保管場所等問題もある。提案の「災害緊急時物資予約売買契約」は災害時、必要物資の供給不

足回避できるメリットがある。県からの備蓄品の搬入や物資運搬方法、その他協定と同様に地域での「災害緊急時物資予約売買契約」について検討していく。



町立幼稚園・保育所の未来構想

問 子供たちの命を守る為、町立幼稚園・保育所を耐震している事は素晴らしい事である。しかし全国的な少子化で宇多津町も減少推計している。こども園化は以前から構想し、これからの我が町の歳出軽減に繋がる提案である。まず築年数と過去からの修繕工事費を伺う。

佐野教育次長 幼稚園は昭和48年竣工で築51年経過。緊急性の高い部分を修繕し、直近5年間の平均は年約104万円。今年度予算395万円を計上。

北山保健福祉課長 保育所は昭和46年竣工で築53年経過。直近5年間の平均は年約137万円。今年度予算118万円を計上。

問 全国的に、こども園化が進んでいる。修繕して使用している2ヶ所の維持管理費が1つになれば、町の歳出削減に繋がる。町所有地なら土地購入コストが抑えられ、建て直しても、もう一つは防災備蓄保管場所として利用し、保管場所の問題解決に繋がる。各課の垣根を超え、各課を結ぶ提

案であるが今後の見解を伺う。

北山保健福祉課長 各施設は地域のセーフティネットとして使命と役割があり、現在こども園への移行は決まっていない。



みやもと あつ お
宮本 敦夫 議員

児童登下校時の暑さ予防対策を問う

問 児童の登下校の姿を見ると、身長とアスファルト道路との距離が大人と比べるとかなり近く、気温30℃の日でもアスファルト道路は50℃以上まで上昇し、子どもの顔周

課外活動など時間的にばらつきがあるので、先ずは児童の登下校時における暑さ予防対策検討を行っているのか問う。

ほか、保冷タオルやクーリングなど冷却グッズの使用も認めている。

佐野教育次長 各学校では、帽子の着用や水筒の携行を指導、下校時には水筒へ水を補充するようこまめな水分補給を促している。保護者へのお願いとして、登校前の児童の体調管理を十分行って頂く

りでは38℃程になるようだ。平均気温も年々上昇し、全国的に猛暑日が続く日が多く、41℃を超える日もあった。学生に対しての対策も懸念しているが、徒歩や自転車登校、

問 先進自治体では、晴雨兼用傘、日傘などを提供、貸出しを行っている。財政力指数0.83で香川県第1位の宇多津町も、児童登下校時の安心安全のため、惹いては住民サービス向上により、定住住民増加にも期待し、この施策考慮可能か問う。

佐野教育次長 先ずは日傘等の積極的な利用を推奨しながら、他の市町の事例を参考に、実現の可能性について調査研究して参りたいと考える。



すくすくスクエアの防音壁について

問 他市町から先進施設視察が多い同施設において北東側の白壁が際立って見える。専門有識者と協議し、利用者の声が自然と落着くような抑止力効果に期待できる絵を描く事など検討しているのか問う。

北山保健福祉課長 南部すくすくスクエアは、高年齢者から子どもまで多くの方に利用頂いている。防音壁を設置後はその状況や様子を注視しているところである。色を塗替えたり絵を描いたり等の対策について現在予定して

いない。周りに迷惑をかけることなく、自由に遊べる環境を提供する対策について引き続き検討して参りたいと考えている。





かんで よしひろ
神出 佳宏 議員

国保税の子どもの均等割の免除を

問 国保では子どもには均等割と平等割が加算される一方、社保では子どもの保険料は控除される。

日本共産党は子どもの均等割は人頭税だとして免除するよう国に求めており、自治体でも不公平感解消のため子どもの均等割を免除するところもある。本町の子どもの均等割の現状は。

古田税務課長 本町では令和4年度から国、地方

の取組で、未就学児均等割の5割軽減を公費負担で行っている。

問 国保では子どもの人数で保険税が加算され、子どもを産み育てたいが躊躇する要因になりかねない。公費負担はあるが

社保との差は否めない現状に対して町の考えは。

古田税務課長 国保税は被保険者の疾病に必要な給付を行い、医療保険や介護保険制度を支える役割を果たしている一方、

持続性と公平性を確保することも求められていると考える。財源は国保会計のみでは賄えず、一般会計からの繰入を受けている状況である。

当町では県提示の標準保険料率より低い保険料率を採用し、負担軽減を図っている。国保制度の枠組みの中で町として一人ひとりが安心して医療サービスを受けられる環境づくりが重要と考え、できることを模索し国県とも連携し、運営をして

いきたい。

今実施している軽減策のほか、町独自の軽減や減免制度を講じるのは財政的な裏打ちのない限り困難なものと考えている。

問 実際に対象拡大の減免や免除を行っている自治体について取り上げる。

埼玉県小鹿野町では19歳未満の国保税全額免除、兵庫県加西市、神奈川県清川村、宮城県亘理町などでも18歳までの全額免除を行っている。福岡県基山町では未就学児の全額免除、宮城県仙台市では未就学児は免除、18歳未満についても基本5割免除、所得に応じて全額9割、7割と免除されている。このように全国でも独自で国保の子どもの

均等割の措置を講じている。本町独自の措置の考えに変わりはないか。

古田税務課長 事例について教示されたが、町独自の施策は財政的な裏打ちのない限り困難と考える。

その他の質問

・18歳までの医療費無償化の検証は



みずもと ぶ み こ
水本 富美子 議員

RSウイルスワクチン接種に助成を

問 肺炎を引き起こす原因の1つに、RSウイルス感染症がある。ほとんどの乳児がかかるRSウイルス感染症は、年齢を問わず感染を繰り返し、基礎疾患のある高齢者がかかると重症化する恐れがある。そこで、乳幼児や高齢者の肺炎予防の啓発として、RSウイルス感染症について、住民への周知や感染予防への注意喚起を行ってはどうか。

ホームページなどを活用し、RSウイルスの感染経路や症状、手洗いなど予防の基本について周知するとともに、季節性を踏まえたタイムリーな情報提供を行いたいと考えている。

西本健康増進課長

感染対策を生活習慣にするため、

問 高齢者と妊婦向けRSウイルスワクチンが、日本で承認され接種可能となった。接種費用が高額であるため、接種費用の一部助成を検討してはどうか。

介護予防住宅改修費の受領委任払い

問 2021年9月定例会にて、介護保険利用の住宅改修や、福祉用具を購入する介護予防住宅改修の受領委任払い制度の導入について質問をした。今後検討していくとの回答であったが、その後の経過について伺う。

導入について質問をした。今後検討していくとの回答であったが、その後の経過について伺う。

西本健康増進課長

RSウイルスワクチンの接種については、予防接種法など国が示す予防接種制度

の動向を注視しつつ、住民の健康と安心安全を最優先に慎重な検討が必要であると考えている。



険システムの變更に合わせ、受領委任払い制度の導入を考えていく。



北山保健福祉課長 令和8年度から国の主導する地方公共団体情報システムの標準化に対応するため、現在使用している介護保



井上 弘治 議員

人口動態から考察した町のポイント

問 国勢調査、住民基本台帳に基づく人口動態のデータから質問。本町の20〜39歳の女性人口割合は12.0%で全国平均の10.3%を上回っている。そして20〜24歳の女性数は他自治体と比べて非常に高い。

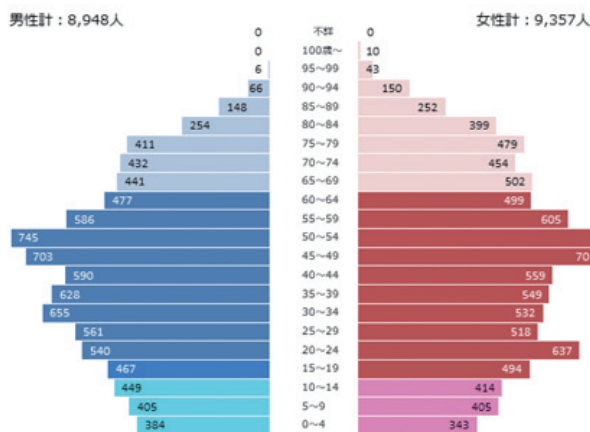
坂出市①70〜74歳②65〜69歳③75〜79歳

この世代は新社会人、結婚・出産前の若い世代であり将来の活力や定住促進に重要な役割を果たす。この世代を活かし、まちづくりはどうつなげるか？今後のテーマと考える。この若い女性人口割合の高さは大きな強みである。これから総合戦略の作成と思う。そのスケジュールを伺う。

吉田まちづくり課長

総合戦略のスケジューリングは各課で現状把握及び構造分析を10月までに行う。進捗状況を10月中旬まで。人口ビジョンの検証及び改定を11月初旬まで。11月中旬までに骨子案の策定。翌年1月までに素案を策定する。2月にパブリックコメントの実施。完了は3月末とし、その間に3回委員会を開く。

宇多津町の2025年1月1日の人口構成（住民基本台帳ベース、総人口）



防犯ボランティア増員に向けて

問 本町は防犯パトロールの運行を通じて犯罪を未然に防止する取組みを実施している。町の犯罪抑止になっている事を感謝している。現在登録されているボランティアの

総数は？ボランティアの確保について？今後の増員方法を尋ねる。

小西住民生活課長

安心安全 まちづくりの会の登録者数は115名。

青色パトロールカー運行にご協力して頂いている人数は70名。ボランティアの募集は随時している。また防犯キャンペーンを年2回、防犯パトロールも年2回行っており

約60名が参加。更なるパトロール強化のため事前に広報、ホームページで募集を行い増員に努めていきたい。



にしもと ゆうこ
西本 祐子 議員

前納報奨金制度は続けるのか

問 全国的に固定資産税の前納報奨金制度を廃止する自治体が増えている。県内では綾川町が令和5年度、土庄町が令和8年度の廃止を決めた。理由は口座振替の導入などで納税意識が向上していること、報奨金を廃止すること、

ことで生じる財源をより多くの住民サービスに使えるなどとしている。宇多津町では令和6年度で1030万円ほどであったが、今後も継続するのか。

古田税務課長

納税意識

を高めるとともに、税収を早期に確保して町財政の安定がはかれるため、引き続き継続する。

問 今も新しい分譲住宅などが建ち、固定資産税は増収になるとみられる。町が健全財政だからこそ

できることだと思うが、一番のメリットは。

古田税務課長

早期収納により資金繰りに対する一定の効果はある。地域における独自の取り組みとしての意義もあるため、継続する。

瀬戸芸の準備は順調か

問 いよいよ10月から瀬戸芸（瀬戸内国際芸術祭）の秋会期が開催される。先日、夏会期の東かがわ市に行ってきたが、たくさんの方々が対応していた。

宇多津ではボランティアはどれくらい集まっているのか。中学生や近隣の高校には声掛けしていないのか。

お手洗いや駐車場の確保はできているのか。

吉田まちづくり課長

準備

は予定していたスケジュール通りに進んでいる。ボランティアに関しては住民や地元企業、団体からも応募があり、約8割確保できている。中学校にはボランティアのお願いはしていないが、年齢に関係なく広く募集して

いる。広報やSNSを使って今後ともボランティア募集を呼びかけたい。来場者用のトイレは町内6か所準備している。

問 トイレは町中だと思うが、駅前のサポートセンターは使わないのか。

吉田まちづくり課長

トイレのことも踏まえて、今後協議したい。



オープニングセレモニー

その他の質問

・町立の幼保、今後の計画は



だいまつ きじろう
大松 喜次郎 議員

小中学校の修学旅行費補助の増額を

問 最近では物価高や人件費の上昇で、旅行費用が高騰している。修学旅行の行程は早く決まるように、追加の費用増の徴収や行先変更のところもあったようだ。全ての児童生徒が参加できるように無償化や旅費の一部を補助している自治体がある。

本町では、参加者1名当たり500円を補助している。この補助はいつから、どんな目的でしているのか。充実した修学旅行の実施と保護者の経済的負担を考え、補助の増額を検討してもよいのではないか。

佐野教育次長 旅行費用に対する経済的支援に関しては、少なくとも直近3年間で経済的理由によって不参加を余儀なくされた児童生徒は、いずれの学校においても確認できなかった。1人当たり500円の町による補助制度については、その創

設や補助金額決定の経緯が明らかでないことから、他市町の事例も参考に、そのあり方について調査研究したいと考える。

公園や道路の樹木の点検の仕方は

問 国土交通省は公園や道路で、倒木や落枝による事故が発生している状況から、管理する全国の自治体などを対象に、人身・物損事故や樹木の点検に関する調査を行った。事故は昨年11月までの3年半で、1732件起きていた。発生場所は公園931件、道路801件

であった。定期点検を行っている自治体は、公園で40%、道路で43%であった。同省は、人が行き来する場所にある樹木や古い樹木を優先して点検をするよう、自治体に促す方針のようだ。樹木の点検はどうなっているのか。

大田地域整備課長 現状は、職員による巡視点検や住民からの通報を踏まえ、必要に応じて剪定や伐採を実施している。台風や豪雨等の予想される際には、事前見回りをし、危険が認められる樹木について、速やかに剪定や伐採等で安全対策を講じている。台風等が過ぎた後

も、同様な対応である。本町では、倒木等による事故は発生していない。維持管理は、職員点検や樹木維持管理業者の専門的なアドバイスを受け、倒木や落枝、根上がりなどのリスクを把握しつつ、路線ごとに計画を立て、優先順位をつけるなど対応している。

第11回全国コンパクトタウン議会サミット in 北島

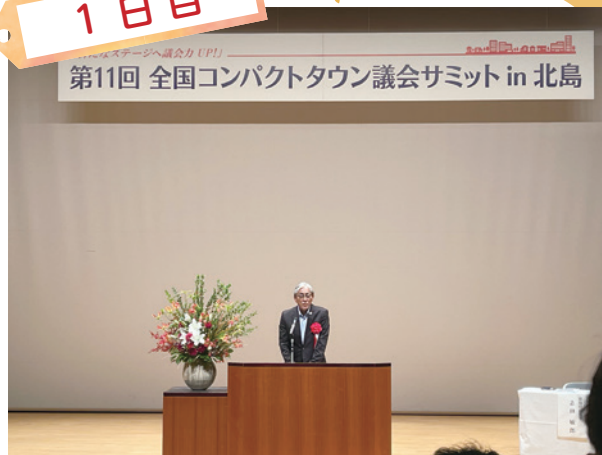
2025年10月16日・17日

平成21年（2009年）度から続く「全国コンパクトタウン議会サミット」は本議会の呼びかけにより始まった。全国各地の面積が小さい自治体（20km²以下）の議員が集まり、課題や政策について議論を重ね、発見や気づきを生かすためのサミットである。

今回で11回を迎え、14議会の約150名が徳島県北島町にて2日間にわたり、講演や各分科会に分かれ議論を交わした。

1日目

第11回 全国コンパクトタウン議会サミット in 北島



基調講演

第1分科会



「地域公共交通の在り方」

第2分科会



「大規模災害への対応」

第3分科会



「人口動態からの子育て支援」

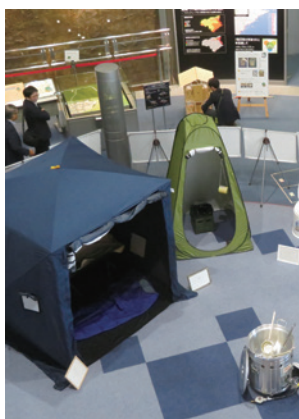
2日目

徳島県立防災センター

見学及び体験の様子



「コンパクトタウンの防災」というテーマで北島町での取り組みの紹介



宇多津町議会政治倫理条例の一部を改正

今回、令和7年9月定例会で政治倫理条例改正の発議を提出した。宇多津町議会では、慣例として総務建設・教育民生の各常任委員長が発議の提出者及び賛成者となっているが、今回の発議には政治倫理委員会の委員長・副委員長も賛成者となり、4名で提出した。

これまでも議員として守るべき政治倫理はあったが、当議会において町補助金を受ける団体の役員に就任していたことや議員個人での発信紙やSNSの発信で町民に事実を誤認させる内容を記載したことが確認されたため、令和6年2月より何度も議会での協議・検討を重ねてきた。県内外の議会でもさまざまな不祥事が報道されていることもあり、寄付や不正行為、パワハラなども入れ、特に厳守すべき10項目を具体化し明記した。

今回の改正にあたり、違反した場合、1. 書面での警告、2. 議会内役職辞任勧告、3. 議員辞職勧告の3項目を政治倫理条例独自の措置とし、懲罰委員会とは一線を画した。さらに政治倫理委員会にすべて裁量権があったものを、違反調査・審査を倫理委員会が行い、その報告を受け最終的に議会で決定することに変更した。

議員は多くの法律や条例・規則を守るべき公人であるため、議員活動時や日常においても発言や行動に重い責任がある。今後も宇多津町議会として議員一同、襟を正し、議会活動に努めていく。

あとがき

秋祭りの賑わいが落ち着き大阪万博の余韻が町に広がる中、瀬戸芸も終盤を迎え季節は深まってまいりました。祭りや芸術を支えてくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。これから寒さが増す折、町民の皆さまが互いに思いやりを持ち、健やかに過ごされますようお願いを込め、本号の結びといたします。

今後とも議会へのご意見をお寄せください。

(田村 充)

議会広報編集委員会

委員長 水本富美子

副委員長 沼田 友紀

委員 田村 充

委員 藤本 和代

委員 宮本 敦夫

発行責任者

議長 宮本 隆